

3年生 総合的な学習

3年1組

「すて木 ときめ木 日枝のまち」

3年生になり、社会科や「ともだち」の学習が始まりました。「日枝のまちってどんなまち？」を調べるためにまち探検をしていると、大岡川沿いの桜の木に番号が貼られていたり、青いガムテープで印がつけられていたりすることを見つけました。「何のために？」「誰が？」・・・みんなで謎を解決していくことになりました。また、「日枝小の木にも番号があるのかな？」と疑問をもち、学校の木についても調べてみることになりました。

まずは、大岡川沿いの桜の木の番号がどこまで続いているか、みんなで探検することになりました。たどってみると、蒔田公園の手前から富士見川公園の近くまでであることが分かりました。また、青いガムテープが付いている木と付いていない木があることが分かりました。「誰がこの木を育てたのかな？」「管理している人は誰かな？」

そこで、まちの人にインタビューして調べてみることになりました。そして、南土木事務所の方が管理していることを知りました。

次に、日枝小にある木について調べました。学校の木には番号が付いていないことを確認することができました。それと同時に、学校にはいろいろな種類の木があることに気付き、お気に入りの木を見付けることになりました。そして、クラスの友達に紹介しました。実を食べたり実を使って遊んだりできることを知り、クワの実で絵を描いたり色水を作ったりして遊んだり、ヤマモモゼリーを作ったりしました。遊べたり食べられたり、いろいろなことに役立つことを知り、「木ってすてき！！」という思いを高めながら活動しています。



3年2組

「カイコ大すき♥カイコはかせ！！」

理科でモンシロチョウやアゲハチョウを育てた子どもたち。「ほかの虫はどうやって成長するんだろう。」という疑問を抱きました。教科書にカイコガが載っていて、「幼稚園のとき、幼虫から育てたことがあるよ。」「お姉ちゃんが育てたことがあるよ。」と言って興味をもちました。そこで、卵をもらって育てることになりました。

本やインターネットで育て方を調べたり、幼稚園の先生や家族、飼育経験のある6年生に取材をしたり、カイコを育てながら、カイコについてたくさんのことを学んでいきました。クワの葉を与え、箱の中を掃除し、毎日毎日世話を続けていきました。カイコが苦手だった子が触れるようになっていたり、時間があればずっとカイコの様子を眺めたり、カイコが成長するとともに、子どもたちのカイコに対する愛着はどんどん高まっていきました。

しかし、梅雨に入って気温や湿度が上がると、体の色が黄色くなったり、下痢をしたりと病気になるカイコが増え、カイコがどんどん死んでいってしまいました。病気のカイコが増えないように、箱を置く場所や湿度、エサのあげ方など、子どもたちは取材したり調べたりして、一生懸命お世話を続けてきました。

幼虫が5令まで成長すると、繭を作り始めました。繭からは絹糸をとることができますが、糸をつくるには繭をお湯で煮て、中のさなぎを殺さないといけません。それを知った子どもたちは、驚き、葛藤します。「殺すなんて絶対にいやだ。」「成虫を見たい。」という意見がある一方、「かわいそうだけど、糸も取りたい。」という意見もあり、子どもたちの気持ちは揺らぎました。そこで、何度も話し合い、その結果、何頭かは成虫にして、あとは繭にすることを決めました。

夏になり、暑さで病気のカイコが増える中、元気なカイコはどんどん繭を作っていました。これからその繭から糸をとってどう活動を進めていくか考えていきます。

3年3組

「作ろう！光ろう☆日枝のまち」

「ともだち」の活動についての共通理解をしてからは、様々な材が子どもたちの中から出てきました。その中から友だちの誕生日会で使用している本物のキャンドルに目を向け始め、「キャンドルには色が着いたものもあるよ。」「形もたくさんある。」「自分たちでも作れるよ。」等キャンドルについてたくさんの方が挙がってきました。また、地域の行事である、「光のふるむなあど」にも気付き、そこに参加したいという思いが強まり、材が「キャンドル」に決定しました。

材が決定すると子どもたちは、家にあるキャンドル、ろうそくを探してもってくるようになりました。誕生日会で使用する細いキャンドル、色のついたキャンドル、透明なキャンドル、香りのついたキャンドル等様々な形のキャンドルに驚き、意欲を高めました。また、簡単なキャンドル作りの方法を調べてまとめた子どももいます。

自分たちで納得のいくまで繰り返し作っていくことで、子どもたちなりの「こだわり」が出始めてきました。また、地域の方々が計画運営している「光のふるむなあど」にも目を向け、参加しようと考えています。子どもたちがどのようなキャンドルで、どんな形で参加するのか今から楽しみです。

